



「知る」ことの大切さ

先週の16日（木）と21日（火）の2時間を使い、高等学校（以後、高校）について学習しました。東部地区だけでも多くの高校があり、また高校によっていろいろな学科があることや入試選抜の時期や方法などを紹介しました。進路選択は、お子さんにとっても保護者にとっても大きな問題です。何が正解で、何が不正解かはわかりませんし、そもそも答えなどないのかもしれませんが、それでも1年後は自分自身で中学校卒業後の進路を切り開いていかなければならないことは避けられない現実です。近年は減少傾向ですが、数年前には高校の中途退学者の増加が問題になっていました。令和2年の統計によると、約4万人の高校中途退学者がおり、主な理由は「進路変更」で実に44.2%の生徒が高校を受け直しているか辞めているそうです。もちろん「進路変更」の背景には様々な要因が関わっているのですが、なるべくそうならないためにも自分にとって正しい選択をするために、正しい知識を得ることが必要なのだと思います。昨今の高校受検については、我々大人世代にはなかったものもたくさんありますので、兄弟がおられず、初めての高校入試を迎える保護者の皆様にとっては不安もあるかと思いますが、随時情報はお伝えいたします。それと同時に日ごろからお子さんと将来の話や高校の話などしていただきますようお願いいたします。もしかしたらこの会話で、お子さんの思いを知ったり、親の思いを知ってもらったりすることこそが今一番必要な進路学習なのかもしれません。

もちろん高校進学だけが、選択肢ではありませんし、たとえ入学しても高校も必ず卒業を迎え、次のステージを選択することになります。長い人生の通過点に過ぎないのです。

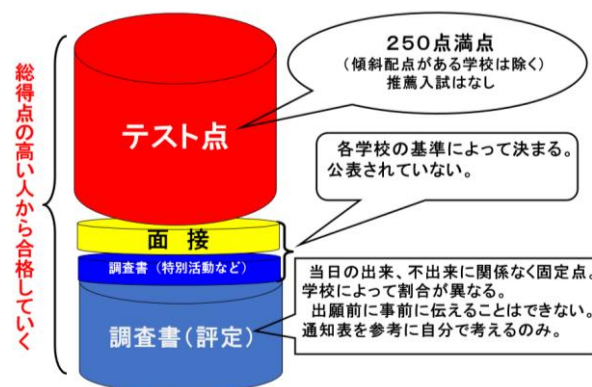
2年生という今、大切なことはどの高校なら入れるかではありません。自分の人生のビジョンを思い描き、それに向け、努力することです。まずはやってみる、あきらめずに粘ってみる。この経験がいつかお子さんにとってかけがえのない財産になると信じています。学年集会で、最後にお子さんに伝えたことが右図の「これから大切なこと」です。共通理解していただけたらと思います。

これから大切なこと

- ・自分の**将来を見据え**、それに合った高等学校や学科を選ぶこと。
- ・**目標**のある人は様々な面で有利。いい加減な理由で高校を選ぶのはやめよう。
- ・**今**をどう過ごし、学習するかで**未来**が変わってくる。高校入試の合否はもちろんだが、将来働くときに、**がんばれる人**はどこでも通用する。そういうことをベースにして入試というものも設定されている。
- ・当たり前のことを**当たり前にできること**や**惜しみない努力**ができることが大切。
- ・**土台**（授業→調査書）をしっかりとすることで力がつく。
- ・日々の生活すべてが、いろんな意味で、**未来につながっている**。自分の未来は自分で切り開くことができる。

入試選抜について ～県立一般入試の場合～

合否の決まり方 （例えば一般受検）



左の図は県立入試の合否の決まり方を示したものです。

入試の合否はテスト点だけでなく、調査書（今までの取り組み）や面接などで総合的に決まります。要するに当日のテスト点も当然大事ですが、それ以外の要素も合否には大きく影響するということです。

鳥取県教育委員会 高等学校課のサイトに各高校の紹介や令和6年度の入試関係の情報が掲載されていますので、是非ご覧ください。また私立高校についても各校情報は公開されています。「知る」ことは選択する上で必要不可欠ですのでこちらも併せて見ていただけたらと思います。